



ササカわら版

7年産米の8月末検査結果（農水省9/30公表） 昨年から+1.7万tの29.0万t、1等比率66.5%

8月末水稻うるち玄米検査数量推移		単位：トン			
	検査数量	1等	2等	3等	規格外
令和7年産	290,536	193,184	82,528	12,617	2,207
	等級別比率	66.5%	28.4%	4.3%	0.8%
検査数量前年比率	118.0%	110.8%	100.5%	86.7%	88.8%
検査数量増減	17,089	18,900	405	-1,939	-277

■前年より検査量が多い。早食いスタート

■1等比率が高温障害のあった5年産を下回る。6年産より良。

令和6年産	273,447	174,284	82,123	14,556	2,484
	等級別比率	63.7%	30.0%	5.3%	0.9%
令和5年産	246,286	169,691	66,664	8,365	1,567
	等級別比率	68.9%	27.1%	3.4%	0.6%
令和4年産	217,643	147,910	60,113	8,066	1,555
	等級別比率	68.0%	27.6%	3.7%	0.7%
令和3年産	201,206	153,041	40,567	6,015	1,583
	等級別比率	76.1%	20.2%	3.0%	0.8%

9/30 農林水産省

今週の玄米入荷情報

岩手 ひとめぼれ 前沢
秋田 あきたこまちやまもと
福島 中通コシヒカリ
福島 中通ひとめぼれ
栃木 コシヒカリ 大田原
茨城 コシヒカリ
千葉 コシヒカリ HG



この時点では、西南暖地や
関東・東海の早場米の検査
結果が中心となる。

水稻うるち玄米の検査数量
は、前年同期を6.2%（1.7万
t）上回る29.0万tで、令和元
～5年平均の検査数量469.9
万tと比較した進捗は6.2%。

検査数量が前年同期を上
回ったのは、「高温の影響で7
年産の生育が早まった影響
がある」とした。

現時点で単純に「1等＋2
等」でうるち玄米全体の検査
数量を計算すると、前年同期
比＋7.55%（1.9万t）となり、
「3等＋規格外」は▲13.0%
（1.7万t）となった。

7年産水稻うるち玄米の検査数量（8月末現在）品種別上位15 単位：t

	品種	検査数量	1等	2等	3等	規格外
1	コシヒカリ	104,090	51.2%	41.4%	6.3%	1.1%
2	あきたこまち	36,212	72.4%	25.6%	1.8%	0.2%
3	ハナエチゼン	16,993	85.3%	12.2%	1.2%	1.2%
4	てんたかく	5,354	96.3%	3.4%	0.1%	0.2%
5	なつほのか	3,444	49.2%	46.2%	4.5%	0.2%
6	つきあかり	3,029	55.1%	40.0%	4.6%	0.3%
7	ミルキークイーン	2,848	61.1%	33.9%	4.6%	0.5%
8	イクヒカリ	2,504	14.6%	64.1%	16.9%	4.5%
9	キヌヒカリ	2,481	2.4%	81.4%	15.5%	0.7%
10	にじのきらめき	2,254	37.5%	55.6%	3.3%	3.6%
11	ひとめぼれ	2,227	55.7%	31.4%	11.5%	1.4%
12	宮崎52号	1,008	14.0%	46.9%	25.8%	13.3%
13	一番星	957	80.2%	17.9%	1.6%	0.3%
14	五百川	920	86.2%	12.1%	1.7%	0.1%
15	あきだわら	894	0.9%	20.3%	72.5%	6.4%